

社協ふないり

(題 字、故 木原房雄氏)

発 行・舟入地区社会福祉協議会
発行責任者・会 長 炭谷 寛司

「第2次福祉のまちづくりプラン策定」

住民アンケート調査結果と今後の計画について

舟入地区社会福祉協議会

舟入地区社会福祉協議会は、「第1次福祉のまちづくりプラン」に続き「第2次福祉のまちづくりプラン策定」を平成27年度から2年間かけて取り組んでおります。

このプランに地域住民のご意見を反映するため舟入地区全世帯を対象にアンケート調査を実施しました。その結果については皆様にご報告のため回覧を予定していますが、機関紙の発行を機に調査結果の概要と今後の計画についてお知らせいたします。

○舟入地区住民アンケート調査の結果について (概略)

配布枚数 3 2 8 5 枚		回収枚数 1 8 8 7 枚		回収率 5 7, 4 %		
性 別	男 性	3 7. 3 %	女 性	6 2. 0 %	無回答	0. 7 %
年 齢	20~39	1 0. 9 %	40~59	3 1. 7 %	60歳~	5 6. 4 %
家族数	1人	2 0. 7 %	2人	3 5. 6 %	3人~	4 2. 1 %

○あなたの住んでいる地域にどのような課題や問題があると感じていますか (複数回答あり、一部の設問を省いています。)

1 地域の人達同士のふれあいの場がない	2 7 5 件	1 1. 8 %
2 異なる年代との交流が少ない	3 8 5 件	1 6. 5 %
3 障害者や高齢者が暮らしやすい環境になっていない	1 5 0 件	6. 4 %
4 高齢者の社会参加や生きがいになるものがない	2 1 3 件	9. 1 %
5 一人暮らしの高齢者への見守りや生活支援が出来ていない	1 9 4 件	8. 3 %
6 医療や健康づくりについての情報が少ない	2 3 4 件	1 0. 0 %
8 子供の遊び場がない・子育て支援体制や組織が出来ていない	2 3 7 件	1 0. 2 %
9 防犯・安全対策が充分でない	3 7 9 件	1 6. 3 %

今回の調査で高齢者に関する回答に見守り活動や生活支援がない等のご指摘がありました。平成29年度から介護保険法が改正され、要支援1~2の方で身体介護までは必要ないものの掃除・洗濯・ゴミ出しなどの支援を受ければ日常生活がおくれる高齢者の方に「住み慣れた地域で安全で、安心して暮らして行けるよう福祉のまちづくり」に努め、広島市が行う「介護予防・日常生活総合支援事業」が地域の人達によって支援できるようボランティアの養成を図りながら福祉委員など地域住民が主体となって見守り活動を推進することとしたい。どうか皆様のご理解と、ご支援をお願いいたします。

第2次福祉のまちづくりプラン実施計画

(1) 広島市や江波包括支援センターと連携して高齢者地域支え合い事業の推進
(2) 地域高齢者交流サロン運営事業の実施や未開設町内会での開設推進
(3) ボランティアバンクの再起動とボランティアの養成・登録・活動の推進
(4) 子育て支援や舟入小学校との地域交流学习・福祉教育の推進
(5) 広報活動の充実とホームページの開設、機関紙の体裁変更と発行回数の増加

地域功労者を表彰

舟入地区社会福祉協議会は、去る1月8日(日)新年互礼会の席上で、地域に於いて10年以上の長きにわたり地域のために貢献され、功績顕著な下記の方々を表彰しました(順不同)

氏 名	所 属	役 職
中 敏 忠男	川南町内会	町内会副会長
由 井 善明	川東町内会	〃
浅 井 洋治	川下町内会	町内会理事
山 崎 勝幸	〃	〃
平 田 忠敏	三丁目町内会	地域安全推進委員
新 宅 淳一	〃	〃
亀 井 英生	〃	〃
平 田 隆司	〃	〃
大 塚 昌代	二丁目町内会	民生委員・児童委員

福祉のまちづくり事業報告

舟入地区社会福祉協議会は、平成28年度主催行事を下記の通り実施いたしました。また、地社協事務所に於いて子育て支援「赤ちゃん広場」、介護予防「転倒予防体操教室」、「縁側サロン」等を行っています。「縁側サロン」は毎週火曜日・第1・2金曜日に健康相談・困りごとの相談や大人の塗り絵・折り紙・編み物・将棋などを楽しんでいただけるようお待ちしております。お気軽にお立ち寄りください。

平成28年度事業報告

月 日	事 業	内 容
6 / 3	あけぼの会	一人暮らし高齢者30名参加
9 / 18	敬老会	77歳以上205名招待
1 / 8	新年互礼会	地域功労者表彰
2 / 12	囲碁将棋大会	三世代交流 第41回
3 / 31	社協ふないり	機関紙発行年1回
年間	近隣ミニネット ワークづくり	高齢者や障害のある方等見守り活動
〃	ふれあいいき いきサロン	地区内8か所で実施
〃	ボランティア バンク	高齢者等の困りごとなど奉仕活動
〃	福祉教育推進 事業	舟入小学校と地域 交流学习(各学年)

福祉のまちづくり3事業の現状について

舟入地区福祉推進委員 黒田 政一

○「ふれあい・いきいきサロン設置推進事業」について

現在は、一部地域で「ふれあいいきいきサロン」の活動を行っております。一地域、一か所のサロンの設置が理想ですが、諸条件をクリアーし、町内会長等のご協力で設置の方向に進めたいと思っています。

舟入地区社会福祉協議会事務所(地域交流センター「パルティア」中区舟入南三丁目6-15)に於いて下記サロンを開設しております。

毎週火曜日 (時間午前10:00から12時00まで)

第1週	縁側サロン	活動内容
第2週		おしゃべり、囲碁、将棋、手芸、大人の塗り絵、健康相談等を行っております。
第3週		
第4週		

毎週金曜日 (時間午前10:00から12時00まで)

第1週	相談日	身近なこと、お悩みを一諸に考えましょう。
第2週		(民生委員・児童委員が常駐しています。)
第3週	あかちゃん広場	2才程度のお子さん、親子の交流、情報交換の場所(無料)
第4週	健康体操	転倒防止の為の体操・定員があります。(参加費300円)

皆様、お気軽にご参加ください。見学を歓迎いたします。

○「近隣ミニネットワークづくり推進事業」について

民生委員のご協力で災害時要支援者名簿は作成しております。今年は3年に一度の広島に於いて65歳以上の人の状況確認のため聞き取り調査をしております。

その結果において、健康や日常生活に不安のある方等、本人の了解のもとで「ミニネットワークづくり」名簿を各町内会長にお渡しして緊急時の際にご支援をお願いしております。

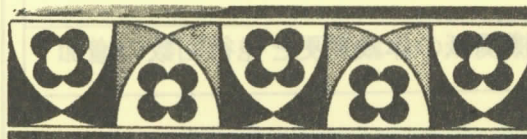
○「地区ボランティアバンク活動推進事業」について

現在、舟入地区社会福祉協議会の「ボランティアバンク」は休止状態になっておりますが、この度のアンケート調査結果の中で三分の二(約1900人)の方がボランティア参加に興味を示しておられます。各町内会でボランティアバンクを立ち上げることが大切です、と申しますのも今年4月から介護保険制度が一部変わり「介護予防・日常生活総合支援事業」となり住民主体型生活支援訪問サービス(住民主体型)→地域団体などのボランティアが居宅を訪問し簡易な生活支援を行う、皆様が助け合う「共助」になります。

小さなこと(子供の登下校時の見守り)から初めて、身近の人に声掛け(安否確認)、話し相手、ゴミ出しと支援内容を決め実行する計画が大切です。

また、広島市は、交通費助成金制度を改め、70歳以上の高齢者向けにポイント制補助金に移行し、一人一人に「ポイント手帳」を配布して、1ポイント100円として上限100ポイント(10,000円)まで助成されます。

現行の交通費助成3,000円と、ポイント制補助7,000円を上限に新旧制度を平行して運用し、ボランティア、健康診断、介護予防などを受診したり活動すればポイントが貯まり、1年間のポイントで交換、口座に現金を振り込む制度になります。今後、団体や市民向けに説明会が開催される予定です。



新任民生委員・児童委員の紹介

新井 敬子

この度、民生委員・児童委員を委嘱されました新井敬子と申します。

私は舟入川口町で生まれ育ち、早や半世紀ちょっと経ちました。2人の息子たちも、舟入地域の方々に見守られ育ちました。

民生委員・児童委員の仕事は、わからないことばかりで、とても不安ですが、先輩方のご指導を受けながら、生まれ育ったこの地域の少しでもお役に立てるよう、努力してまいりたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

田田担当区域

舟入川口町1, 2, 3, の一部, 7~9の各一部, 18の一部, 19~22, 舟入南1丁目1

「高齢者交通安全モデル地区」

の期間延長について!

舟入地区は平成28年度に「高齢者交通安全モデル地区」の指定を受けました。

この為、町内会行事等の際に「高齢者交通安全モデル地区」として啓発活動を行い反射材・チラシ等を配布しました。

また、7月25日高齢者交通安全講習会9月22日高齢運転者ドックを広島中央警察署のご指導で開催し、高齢者が交通事故の当事者にならないよう努めてきました。

この度交通安全モデル地区の指定が、従来は1年間でありましたが、2年間に延長されました。この為

舟入地区のモデル地区が

自平成29年4月1日~

至平成31年3月31日

までとなりました

